

京都芸術センターとロームシアター京都が連携

創作から上演までを支える『U35 創造支援プログラム KIPPU』2027年度募集

京都芸術センター（京都市中京区）とロームシアター京都（京都市左京区）は、35歳以下の舞台芸術家を対象とした『U35 創造支援プログラム KIPPU』の2027年度参加アーティストを募集します。本プログラムは、京都芸術センターの制作室とロームシアター京都 ノースホールを活用し、創作環境と発表機会の両面から支援するものです。新たな挑戦に取り組むアーティストを対象に、京都から次代の舞台芸術を担う人材の発掘・育成を目指します。

チケット購入支援や事前の劇場利用機会を新設、若手アーティストへのサポートを拡充

2018年度より実施している『U35 創造支援プログラム KIPPU』は、京都芸術センターとロームシアター京都が連携し、若手舞台芸術家の創作活動を支援するプログラムです。京都芸術センターの制作室とロームシアター京都 ノースホールという、それぞれ異なる機能を持つ二つの文化施設を活用しながら、作品の創作から発表までを見据えた環境を提供しています。

参加アーティストは、京都芸術センターの制作室を拠点に作品制作を行い、その成果をロームシアター京都 ノースホールで発表します。演劇、ダンス、音楽、伝統芸能などジャンルを問わず、舞台機構を活用した表現への挑戦や作品規模の拡張、新たな観客との出会いなど、それぞれの活動の発展につながる取り組みを支援してきました。

本プログラムは、単に創作や上演の機会を提供するだけでなく、アーティストが次の活動へ向かう足がかりとなることを目指しています。2027年度は新たに、ロームシアター京都によるチケット購入を通じた若年層への鑑賞機会の提供や、公演前にノースホールを利用できる機会を設けるなど、創作と発表を支える環境をさらに充実させてまいります。



■ 2027年度参加団体募集期間

2026年7月6日（月）～2026年8月21日（金）

■ これまでの採択団体

2018年度 ブルーエゴナク、安住の地、akakilike
2019年度 オル太、お寿司
2020年度 中川裕貴、シラカン、スペースノットブランク
2021年度 福井裕孝、敷地理
2022年度 空間現代、努力クラブ
2023年度 劇団不労社、PANCHETTA
2024年度 プロトテアトル、Dr.Holiday Laboratory
2025年度 幻灯劇場、餓鬼の断食、トレモロ
2026年度 うさぎの喘ギ、増川建太／こむらがえり體

1. 応募資格

- ・京都で創作し、舞台芸術作品を上演することに意欲があること。
- ・代表者あるいは主たるアーティストが概ね35歳以下の個人または団体。
- ・過去に3作品以上、上演経験があること。
- ・演劇、ダンス、音楽、伝統芸能など、舞台芸術のジャンルは問いません。
- ・新作、再演など形態は問いません。
- ・居住地、活動拠点は問いません。
- ・過去にご応募いただいた方の再応募も可能です。

2. 条件

- 制作： 京都芸術センター 制作室 ※¹

- ・使用料はかかりません。
- ・公演日の最長3ヵ月前から使用可。最短でも2週間程度は使用すること。

※選考後、日程(A) (B)については2026年12月末まで、日程(C)については2027年6月末までに使用期間・日時を調整のうえ決定します。

- 上演： ロームシアター京都 ノースホール ※²

- ・以下のいずれかの日程で、ロームシアター京都 ノースホールで上演できること。(以下の日程には、仕込、リハーサル、本番、撤去すべて含みます)

(A) 2027年6月15日（火）～20日（日）

(B) 2027年9月7日（火）～12日（日）

(C) 2027年11月2日（火）～7日（日）

- ・劇場使用にかかる会場費、付属設備利用料、劇場管理人件費はロームシアター京都が負担します。
- ・公演終了後、共催費として入場料売上の10%をロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）にお支払いいただきます。
- ・公演のクレジットは、主催：応募者・団体、共催：京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化財団）、京都市とします。
- ・京都芸術センターおよびロームシアター京都が提供する上記の条件以外にかかる公演に必要な業務・費用は、すべて公演主催者（応募者）の負担となります。

また、2027年度より下記のサポートを新規に実施します。

- ・ロームシアター京都が1ステージあたり10枚程度の一般チケットを購入します。購入したチケットは、若年層の観客育成等のために活用します。
- ・ノースホール使用期間の前に、平日の1区分（3～4時間単位）でノースホールを使用することができます。但し、本事業のための使用に限ります。

※¹京都芸術センターの制作室について

京都芸術センターでは、芸術の新たなあり方を求める芸術家（団体）の活動を支援するため、制作支援事業として「制作室」を無償で提供しています。<http://www.kac.or.jp/program/21908/>

※²ロームシアター京都 ノースホールについて

地下2階に位置し、約150～200人収容の仮設客席を設けることができます。仕様や設備は、ロームシアター京都 WEB サイトよりご確認ください。<https://rohmtheatrekkyoto.jp/>

3. その他のサポート

- ・制作協力（応募者の制作体制や課題に応じて、アドバイス、コーディネートします）
- ・広報協力（広報計画のアドバイス、プレスリリース等の広報媒体への掲載等）
- ・滞在施設の情報提供（ゲストハウス等の紹介、支援機関に仲介します）
- ・上演作品に対する批評家などによる批評文

4. 採択数 2件（予定）

5. 応募方法

下記の①～④を応募フォームにて提出してください。

- ①所定の応募用紙（京都芸術センターおよびロームシアター京都のWEBサイトよりダウンロードしてください）
- ②ノースホール使用プラン
- ③予算書（A4サイズ、様式任意）
- ④活動資料

6. 募集期間 2026年7月6日(月)～2026年8月21日(金) 必着

7. 審査基準

- ア 活動内容及び計画が具体的であること
- イ 活動計画が当該アーティストの過去の実績、制作体制等から推測して実現可能であること
- ウ 活動の目的及び内容が現在の京都の舞台芸術状況に対して先駆性を提示できること
- エ 京都芸術センター制作室で制作を行う必要性があること
- オ ロームシアター京都ノースホールで公演を行う必要性があること
- カ 活動の継続性、発展性が期待できること

8. 選考手順

応募締切：8月21日(金)

書類審査：8月下旬

通知：9月上旬

面談（書類審査通過者のみ）：9月9日(水)・11日(金)・12日(土)（予定）

最終決定

9. 決定時期 2026年9月下旬（予定）

10. 個別相談会

オンラインにて、個別相談会（7月10日(金)～11日(土)、各団体20分程度）を開催します。申込方法や日時など、詳しくは下記ウェブサイトをご覧ください。

<https://www.kac.or.jp/program/260621/>

主催：京都芸術センター（公益財団法人京都市芸術文化協会）、ロームシアター京都（公益財団法人京都市音楽芸術文化振興財団）、京都市

京都芸術センター

京都芸術センターは、芸術文化の振興を目的に2000年4月に開設されました。若い世代を含む多様な芸術家の制作支援を軸に、芸術文化に関する情報発信や、芸術家と市民の交流促進に取り組んでいます。芸術家が創作活動を行い、その成果を発表するための制作室の提供をはじめ、展覧会、演劇、ダンス、音楽、伝統芸能などの公演やワークショップを実施。芸術家の発掘・育成や伝統芸能の継承、国内外の芸術家を受け入れるアーティスト・イン・レジデンス事業にも力を注いでいます。これらの活動を通じ、京都における都市文化創造の拠点として、芸術の新たな価値を社会に開く場づくりを進めています。

<本件に関するメディアからのお問い合わせ先>

京都芸術センター(公益財団法人京都市芸術文化協会) TEL：075-213-1000、E-mail：pr@kac.or.jp、担当：福島